

日比谷公園 庭園鑑賞・自然観察会

◎日時：2017年11月18日（土） 11：30～12：15

◎活動内容

○日比谷公園の歴史解説（会議室）

- ・日本に於ける洋式公園の計画と建設。日比谷公園がその第一号となった。
- ・辰野金吾博士案と本多清六博士の建設計画。
- ・完成後は東京市民に大好評。日露戦争戦勝祝賀会、総理大臣の国葬など多くの国家行事が行われた。

○庭園鑑賞 洋風庭園の鑑賞を実施。

- ・噴水公園で、洋風庭園の特長である中心線の位置と左右対称の全体構造を確認。中心線の上に噴水、音楽ホールを中心、日比谷公会堂の塔頂が並ぶ。
- ・第一花壇公園も同じ左右対称型。
- ・雲形池で日本庭園の特長と洋風庭園との違いを観察。

（文責：田和恭介）

先月は日比谷公園の日本庭園を中心に鑑賞したが、今回は洋風庭園を見た。

まず、室内で、日比谷公園の年表で、成り立ちを勉強した。明治になって公園を作るとき、役所は洋風庭園を作ろうとした。そこで本多清六氏はドイツ人ベルトラムの設計図を取り入れた庭園を提案し、作ったのではないかとこれは講師の田和さんの推測だそうだが。外に出て実際に、洋風庭園と日本庭園を見て違いを実感した。

（文責：小川真理子）

